

実施状況報告

事業名	教育文化講演会		
実施主体名	八幡浜教育会、愛教研八幡浜支部		
日時	平成30年11月3日(土) 13:30 ~ 14:40		
場所	八幡浜センチュリーホテル イトー		
参加者	OB会員、現職会員、地域住民	参加者数	80名

「将来に向けた水道事業の再構築について」と題して、八幡浜市産業建設部水道課課長の菊池利夫氏に講演していただきました。

昭和初期から平成の大合併に至るまで、市内の水道整備は人口の増加や市民の生活環境の変化に伴い、加速度的にその規模を拡大したが、ピークを過ぎた後には、経年劣化による水道設備維持の難しさや人口減少に伴う事業収支のアンバランス化が影響し、今後、管理体制へ暗い影を落とすことになることは目に見えていると語られる菊池さんの言葉は、「蛇口を回すと、水は自然と出るものだ」と、普段から当たり前のこととして深く考えたことのなかった私たちにとって、まさに「寝耳に水」の驚きでした。そして、この問題を子孫に先送りするようなことをせず、我々の時代に解決すべく、具体的・効率的なアセットマネジメントを推し進めていかなければならないと講演を結ばれた言葉に、菊池さんの仕事に対する責任の重さを感じるとともに、ふるさと八幡浜を思う心の深さと、八幡浜を愛する気持ちのあたたかさを感じずにはいられませんでした。

ぜひ多くの人に関心を持ってもらいたいと思い講演を依頼しましたが、10年にわたり八幡浜市の水道事業に関わる仕事に携わってこられた菊池さんの「他人事でない」まさに「自分事」として熱く語られる力のこもったお話に、いつしか会場がひとつとなって、参加者全員が八幡浜市の水道事業が抱える現在の問題や将来への課題について真剣に考える貴重な時を持つことができました。

